

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン

オートグリルパネル取付説明書

RBC-UA41PG(W)(K)

RBC-UAP41PG(W)

日本国内専用品
Use only in Japan

このたびは東芝パッケージエアコン「オートグリルパネル」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
取付の前にこの説明書をよく読み、正しい取付を行ってください。

安全上のご注意

表示の説明



警告

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容」を示します。



注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示します。

- ※1：重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害をさします。

警告

- 据付は、販売店または専門業者に依頼する
ご自分で据付工事をされると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う
据付に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確実に行う
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。
- アースを必ず接続する
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

- 改造・修理は絶対にしない
改造したり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。



禁止

○は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



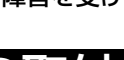
注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



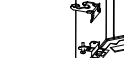
注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



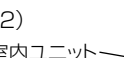
注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



注意

●据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）



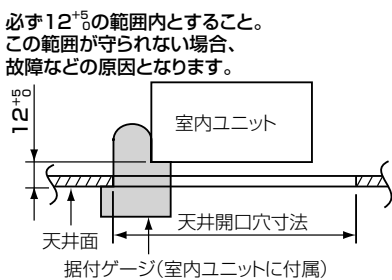
構成部品

品名	天井パネル	取付説明書	取扱説明書
個数	1	1	1
形状			

1. 天井パネル取付前の準備

室内ユニット位置の確認

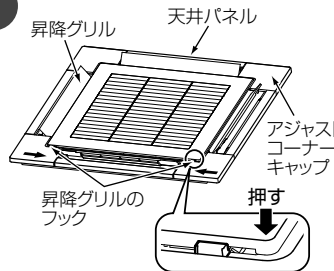
- ①室内ユニットの据付説明書に従って確認してください。
- ②天井開口穴が860×860～910×910の範囲内を確認します。
- ③室内ユニットに付属の据付ゲージを使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行います。天井面と室内ユニットの位置が合わないとき風もれや水漏れおよびフラップの作動不良などの原因となります。
- 天井パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。また、仮掛け金具が裏面についていますので変形させないように取り扱いに注意してください。
- ワイヤレスリモコンをご使用の際は、誤動作防止のため蛍光灯や直射日光の障害を受けない場所を選定してください。



2. 室内ユニットへの取付

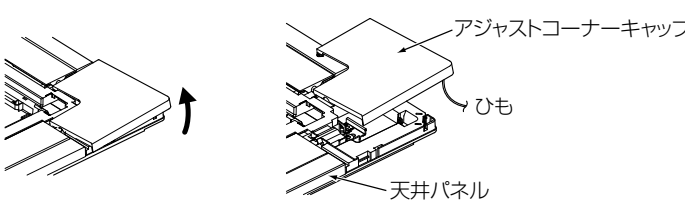
昇降グリルの取りはずし

昇降グリルのコーナーを押しながらフックのつまみを矢印の方向にスライドし、昇降グリルを取りはずします。



アジャストコーナーキャップの取りはずし

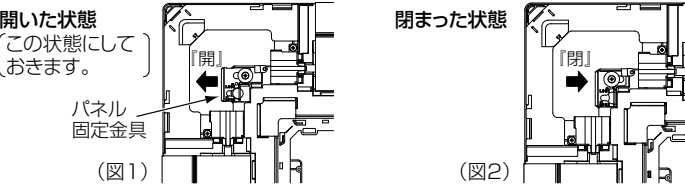
アジャストコーナーキャップの角を矢印の方向に引き上げ、アジャストコーナーキャップを4角ともすてはします。



パネル固定金具の位置確認

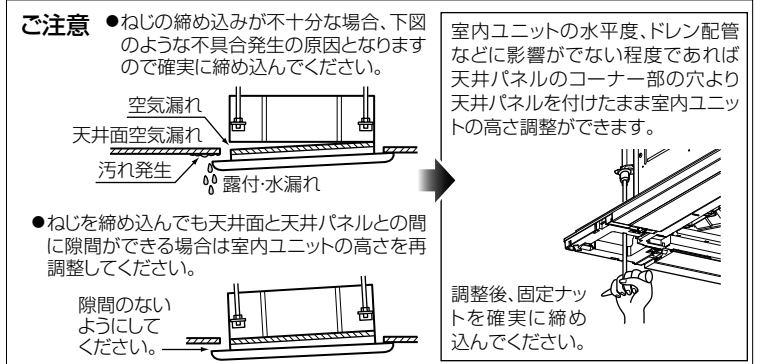
アジャストコーナーキャップを取りはずしたあと、パネル固定金具が（図1）のように開いた状態であることを確認してください。

- パネル固定金具が閉まった状態（図2）だとパネルが室内ユニットに取り付きませんので、金具をスライドして開いた状態にしてください。

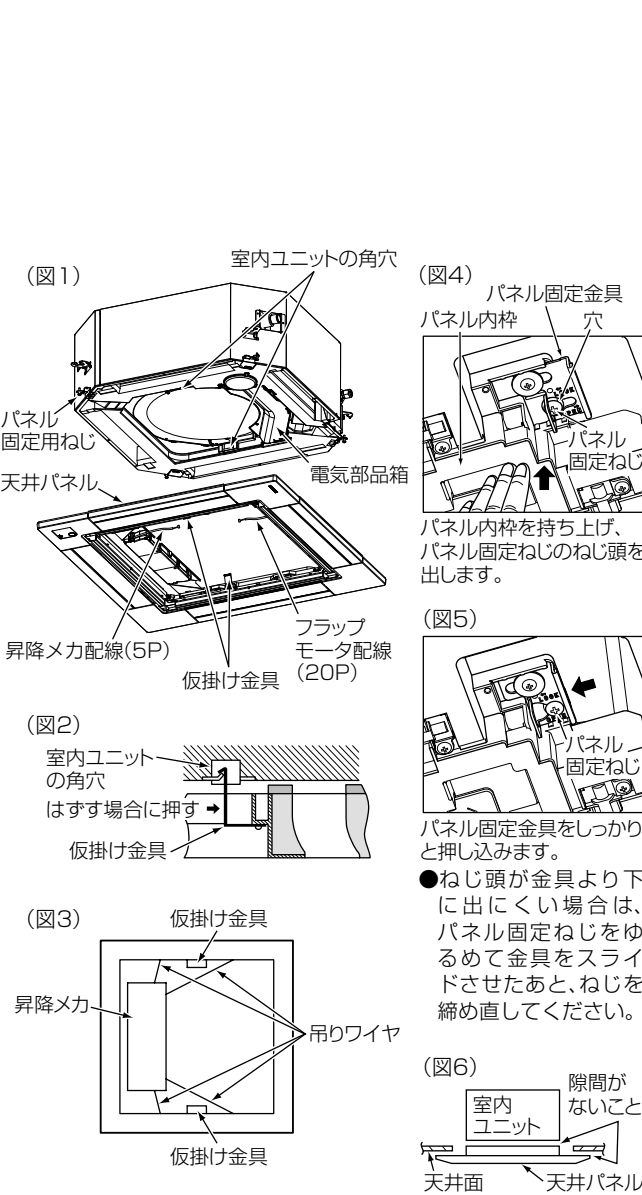
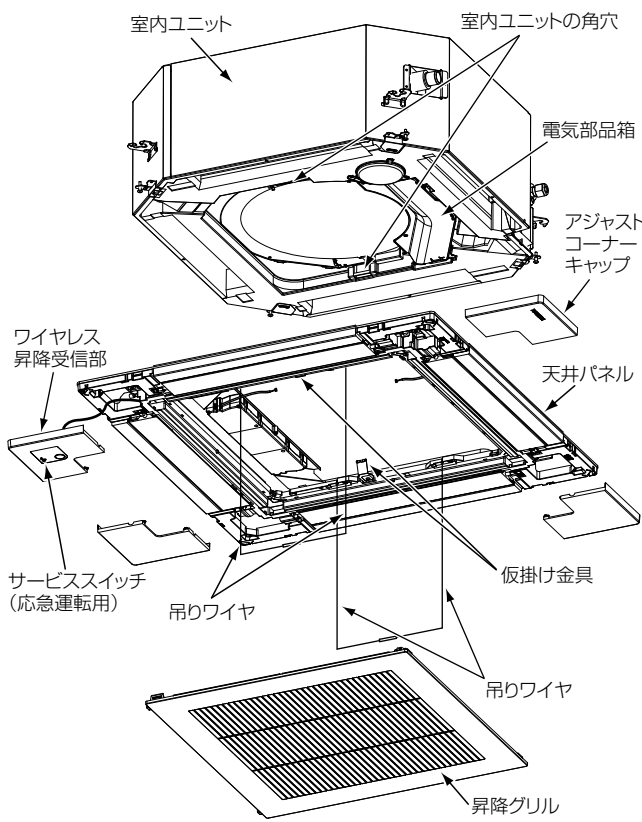


オートグリルパネルの取付

- ①天井パネル内面の仮掛け金具（2カ所）を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けします。（図1、図2）
※このとき吊りワイヤが仮掛け金具の内側を通るようにしてください。（図3）
- 天井パネルは室内ユニットに対して方向性があります。フラップモータ配線（20Pコネクタ）を室内ユニットの電気部品箱側に向けてください。
- はすす場合は天井パネルを支えながら仮掛け金具を外側に押してください。
- ②パネル内枠のコーナー部を持ち上げて、室内ユニットのパネル固定用ねじをパネル固定金具の穴に通し（図4）、パネル固定金具を矢印方向にスライドさせ、所定の位置（図5）までしっかりと押し込みます（4カ所）。このとき、ねじ頭がパネル固定金具より下になる状態で、パネル固定金具をスライドさせてください。
- パネル固定ねじは出荷時より、室内ユニットに取り付けてあります。
- ③パネルが天井に密着したことを確認します。
- このとき、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。（図6）



オートグリルパネル取付図

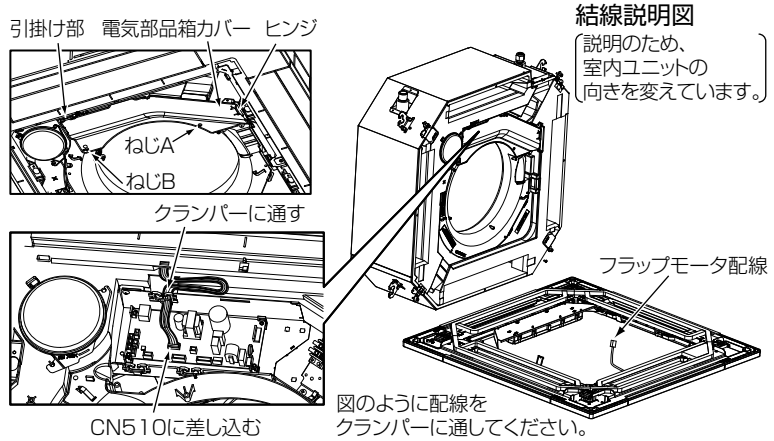


2. 室内ユニットへの取付（つづき）

配線方法

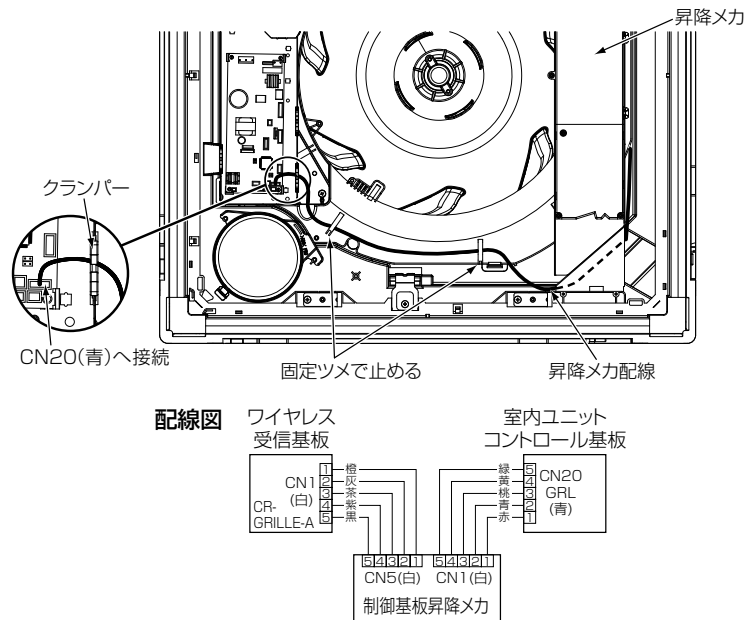
フラップモータの配線

- ①吊りワイヤは束ねられているのでほどいてください。
- ②電気部品箱カバーの取付ねじAをはすし、ねじBをゆるめます。カバーを内側にスライドさせて引掛け部をはすします（電気部品箱カバーはヒンジに引掛けたまとなります）。
- ③天井パネルから出ているフラップモータ配線を図のようにクランバーに通して室内ユニットPC板上のコネクタ20P（CN510：白）に接続してください。
- コネクタを接続しないと、フラップが動作しないので、確実に接続してください。



昇降メカの配線

- ①昇降メカから出ている配線を図のように固定ツメとクランバーに通し、室内ユニットPC板上のコネクタ5P（CN20：青）に接続してください。
- コネクタを接続しないと、昇降グリルの昇降が動作しないので、確実に接続してください。
- 電気部品箱に入るまでの配線はたるみのないようにしてください。（配線の余りは電気部品箱内で処理してください。）
- 配線は必ず吊りワイヤの上を通して吊りワイヤに当たらないようにしてください。
- ②電気部品箱カバーを開けたときと逆の手順で取り付けてください。
- 配線が電気部品箱と電気部品箱カバーの間にはさみ込まれていないことを確認してください。
- 配線が室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込まれていないことを確認してください。

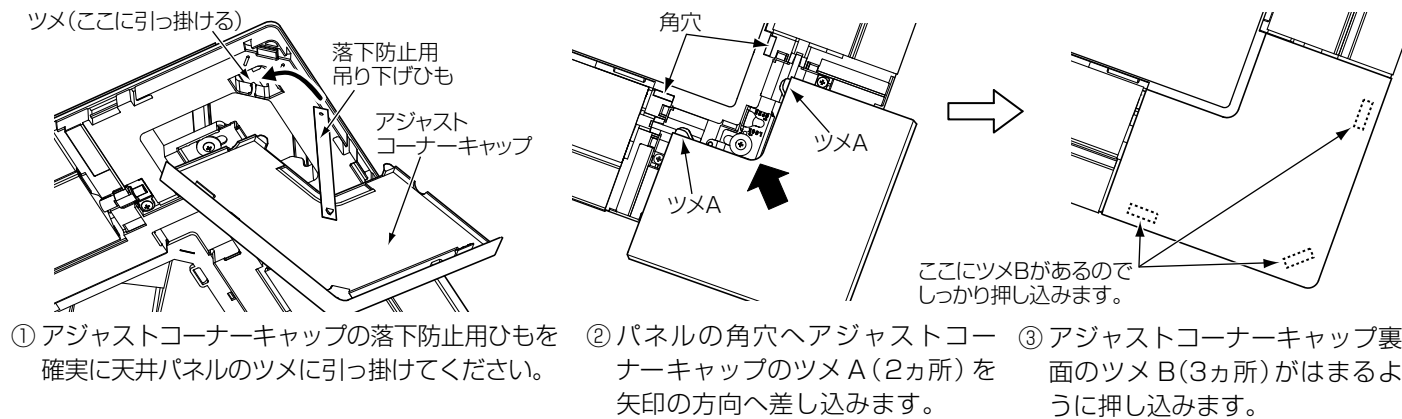


アジャストコーナーキャップ・吸込グリルの取付

アジャストコーナーキャップと昇降グリルの取付は、本体ユニットへの取り付けの項と逆手順で行います。
●この天井パネルは、複数台設置時の吸込グリルの格子の方向合わせを、お客様の要望により下図のように変更することができます。

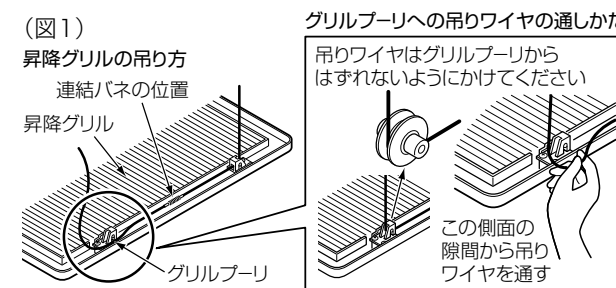
アジャストコーナーキャップの取付

- アジャストコーナーキャップのツメがはまっていない箇所があると水漏れの原因となりますので、確実にツメA（2カ所）とツメB（3カ所）をしっかりと奥まで押し込み、アジャストコーナーキャップの浮きがないことを確認してください。

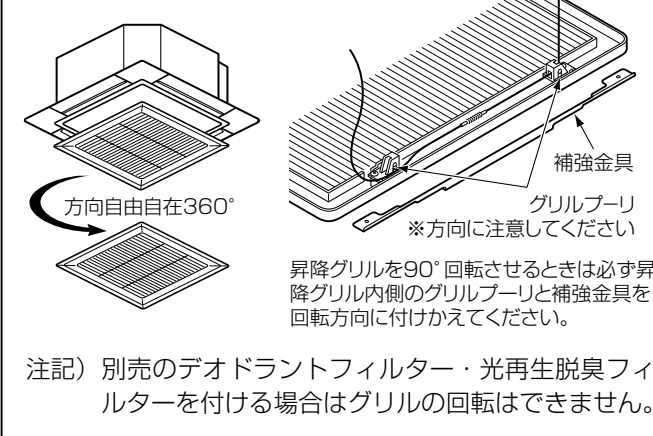


昇降グリルの取付

- ①（図1）のようにグリルブリーへ（連結バネがグリルブリーとグリルブリーの間にくるように）吊りワイヤを確実に通し昇降グリルを水平にしてください。
- ②昇降グリルのフックの（2カ所）を昇降グリル横壁より出張らないように確実に収納してください。



昇降グリルの取付方向



3. 据付後の確認

- 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると水漏れや露付きの原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないとフラップが動作しない、昇降動作ができない原因となります。
- リモコンで昇降グリルを上昇させ、天井パネルに確実に収納してください。（電源投入後、初めて操作するときは、リモコンのフィルタ昇降（V）ボタンを押しても上昇動作をします。）
- エアコンに電源が通電されていないときに、昇降グリルを収納したい場合は「4. その他」の「応急処置」の「昇降グリルの仮掛けのしかた」を参照してください。

4. その他

オートグリルをワイヤードリモコンから操作するための設定方法

ワイヤードリモコンの「」ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行ってください。この設定をしないと「」ボタンを押しても「この機能はありません」が表示されます。

- ①「」＋温度設定（V）ボタンを同時に4秒間以上押します。
※オートグリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行う場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示される室内ユニットNOはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスです。「」ボタンを押さないでください。
- ②温度設定（V）ボタンで項目コード「30」を指定します。
- ③タイマー時間（V）ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
- ④「」ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
- ⑤「」ボタンを押します。通常の停止状態になります。「」ボタンを4秒間以上押して表示部に「フィルター昇降」と表示されることを確認してください。
再度「」ボタンを押すと通常の停止状態に戻ります。

ワイヤレスリモコン対応の場合

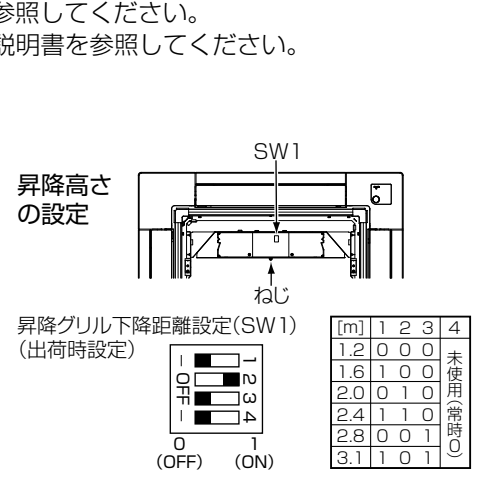
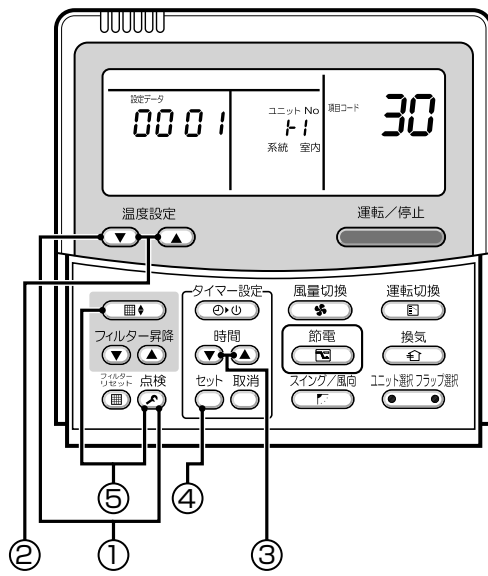
- 取付方法の詳細は、ワイヤレスリモコン受信キット（別売品）に付属の取付説明書を参照してください。
- ワイヤレスリモコンでの操作の詳細は、ワイヤレスリモコン（別売品）に付属の取扱説明書を参照してください。

昇降グリル下降距離の設定

下記方法で昇降グリルの下降距離の設定が可能です。

- 図のねじをはすし、昇降メカのふたを開け、PC板上のSW1で設定します。
※出荷時は2.0mの設定になっています。

オイルガードオートグリルパネル（RBC-UAP41PG(W)）の場合は、ワイヤードリモコンにてDCファンストップの設定変更を必ず行ってください。設定方法は、室内ユニット据付説明書「別売フィルタを組み込む場合」に従って設定変更を行ってください。
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下し、露付きの原因になります。



（裏面につづく）

4. その他 (つづき)

オートグリルを省エネ neo リモコンから操作するための設定方法

この設定をしないと、メニュー画面内の **オートグリル操作** を選択して **設定** 『F2』を押しても「**本機種では設定できません**」が表示されオートグリルの操作ができません。

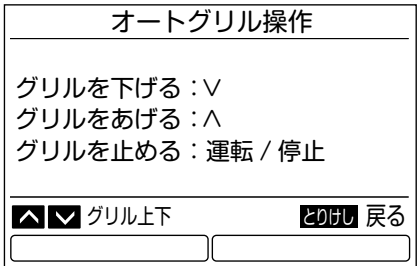
- ①『メニュー』を押してメニュー画面を表示させます。
- ②メニュー画面で『√』と『メニュー』を同時に長押しすると現地設定メニュー画面(画面1)が表示されます。
- ③現地設定メニュー画面で『△』『▽』を押して、**簡単機能設定** を選んで **設定** 『F2』を押すと、簡単機能設定画面(画面2)が表示されます。
- ※オートグリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行う場合は、親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNo.はグループ制御の親機のアドレスですので、“ユニット”『F1』を押さないでください。
- ④簡単機能設定画面で『△』『▽』を押して、**オートグリル** を選び、**→●** 『F1』を押して**●**を“有効”側に設定します。
- ⑤『メニュー』を押すと“設定中”画面表示後に、現地設定メニュー画面が表示されます。
- 『とりけし』を2回押すと停止画面に戻ります。
- ⑥設定が終了したら、メニュー画面内の **オートグリル操作** を選択して **設定** 『F2』を押して、オートグリル操作画面が表示されることを確認してください。(画面3)



画面1：現地設定メニュー



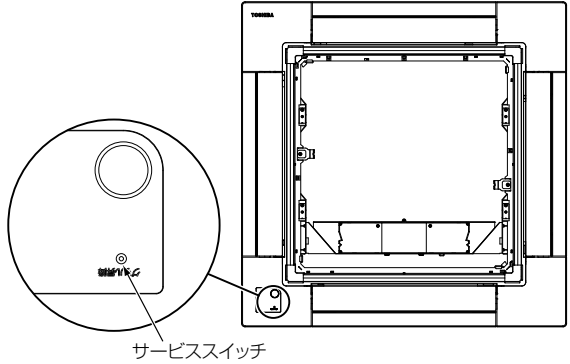
画面2：簡単機能設定
(リモコンの種類により画面表示が異なります。)



画面3：オートグリル操作

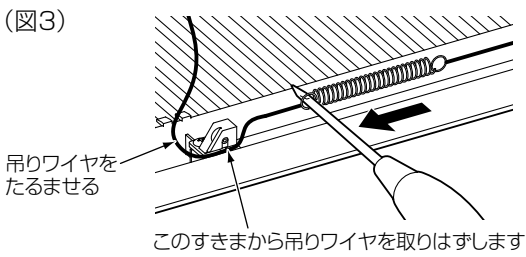
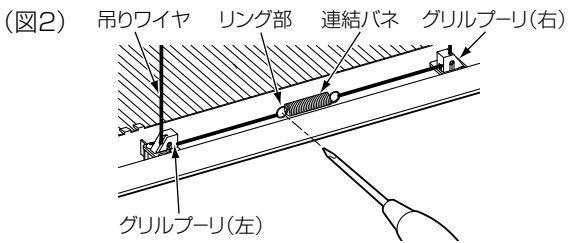
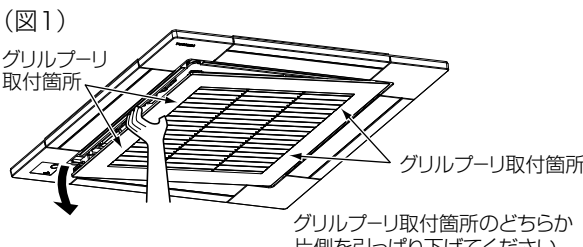
応急処置

- リモコンで昇降グリルが下降・上昇できないときは、図のサービススイッチにて応急運転(昇降動作)を行います。
(サービススイッチを押すごとに上昇・停止・下降をくり返します。)



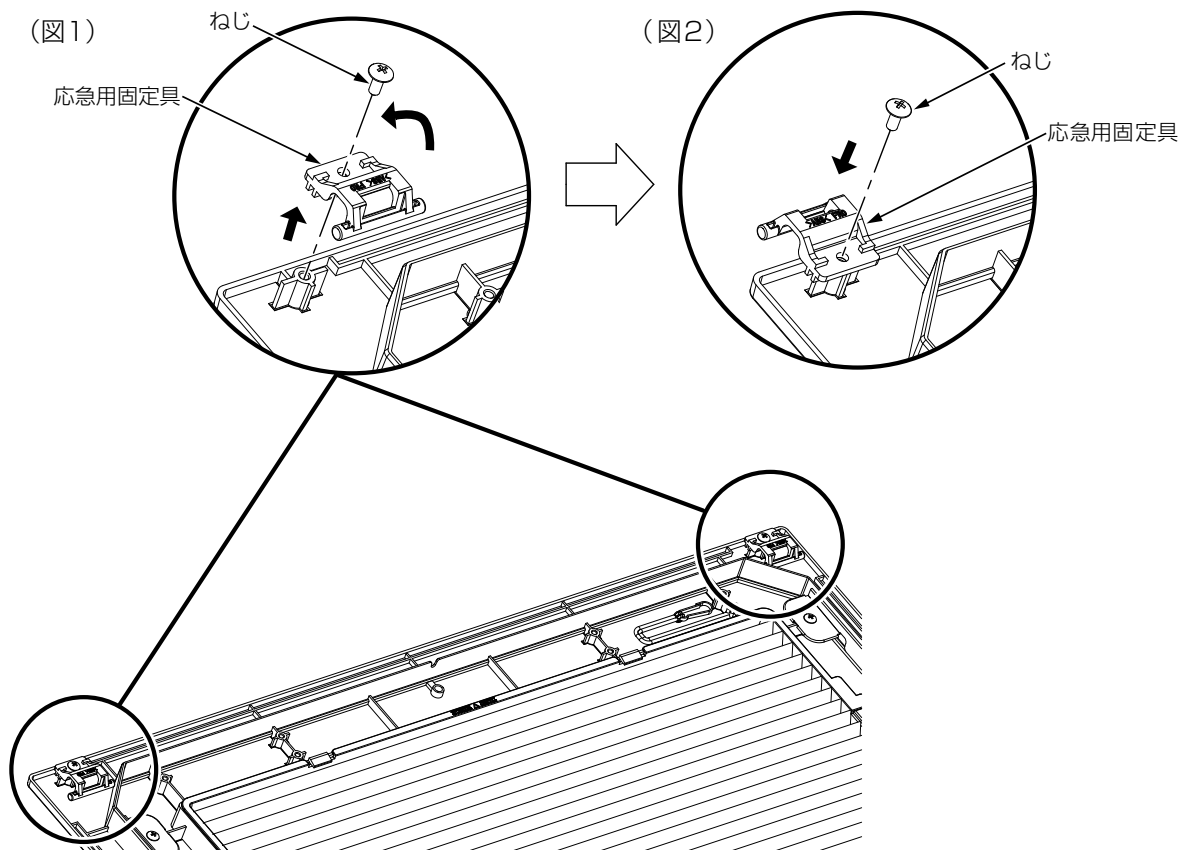
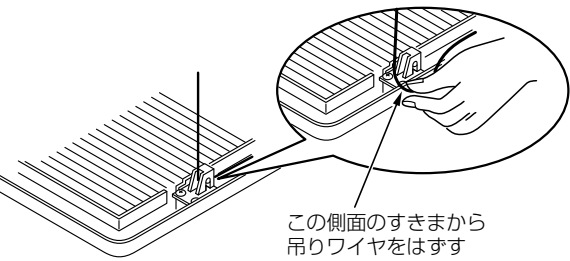
サービススイッチでも昇降グリルが動作しない場合(故障・停電時)の取りはずし方法と応急処置のしかた

- ①昇降グリルのグリルブリー取付箇所片側を下方に引っ張り下げます。(図1)
- ②吊りワイヤの連結バネリング部にドライバーを挿し込んで、グリルブリー(左)側に連結バネを引っ張り、グリルブリー(左)にかけている吊りワイヤをたるませます。(図2、3)
- ③グリルブリー(左)から吊りワイヤを取りはずします。(図3)
- ④グリルブリー(右)にかけている吊りワイヤも同様の手順で取りはずします。
- 反対側の吊りワイヤも①～④の手順で取りはずします。
- ⑤下記“昇降グリルの仮掛けのしかた”に従い、昇降グリルを取り付けます。

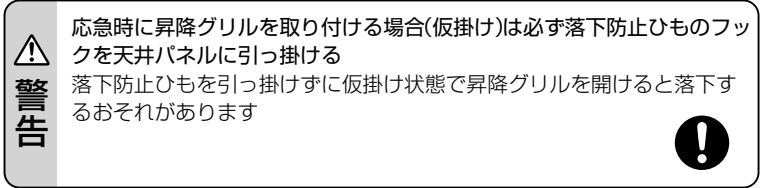


昇降グリルの仮掛けのしかた

- ①吊りワイヤから、昇降グリルを取りはずします。吊りワイヤは、エアコン運転の妨げにならない所に、束ねてテープなどで止めてください。
- ②昇降グリルにねじ止めてある応急用固定具をはずし、図のように向きを変えて取り付けます。(図1、2)



- ③昇降グリルの応急用固定具を天井パネル本体(図3の位置)に引っ掛けます。その際、昇降グリルに取り付けてある落下防止用ひものフックを天井パネルの図の位置に必ず引っ掛けてください。(図3)
- ④昇降グリルを閉じてフックのつまみを矢印方向にスライドさせて取り付けます。



お知らせ

電源が通電され、昇降動作を行うときは必ずフックを昇降グリルに収納し、応急用固定具を元の向きに戻して落下防止ひものフックを天井パネルからはずしてください。

お客様への引渡し

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に付属の取扱説明書と室内ユニットの取扱説明書にそって使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
また、この取扱説明書は取扱説明書と、室内ユニットの取扱説明書および据付説明書とともにお客様で保管していただくように依頼してください。

